

園長	主任	担任

<p>ねらい</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の体調や生活リズムに留意し、健康に過ごせるようにする。 保育者や友だちと一緒に正月遊び、新年子ども会を楽しむ。 冬の自然を感じながら、戸外で元気に遊ぶ。 簡単な身のまわりのことを自分でしようとし、出来た嬉しさによって自信を持つ。 自分の思いを伝えたり、友だちの思いを知りながら関わりを深め一緒に過ごす楽しさを感じる。 	<p>子どもの姿 先月の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> 気の合う友だちと「一緒に」行動したり、言葉のやりとりを楽しむ姿がある。 長袖のシャツや上着を自分で脱ぎ着しようとしていたり、出来た時には「出来たよ」と保育士に嬉しそうに見せる姿がある。 ままごとや、お医者さんごっこなどおもちゃを使いながらなりきって保育士や友だちと楽しむ姿がある。 	<p>行事</p> <p>9日 新年子ども会 16日 身体測定 25日 避難訓練</p>
<p>内容</p> <p>・保育室内の換気、湿度、温度に留意し、快適に過ごせるようにする。</p> <p>・下痢や嘔吐など等の汚物処理を適切に行い二次感染の予防に努める。</p> <p>・年末年始の休み明けの「おうちがいい」などの思いを受けとめ、安心して過ごせるようにするとともに、生活リズムも整えていく。</p> <p>・保育士が仲立ちしていきながら、友だちにも思いがあることを伝えたり自分の気持ちを出せるようにしている。</p> <p>・子どもの気持ちを理解、受容することにより、自分の様々な思いを安心して表すことが出来るようになる。</p> <p>・異年齢児との関わりを深める中で幼児クラスへの憧れや楽しみな気持ちを持つようにする。また、年下の子への関わり方も伝えていく。</p>	<p>環境構成</p> <p>・保育室内の換気や室温、湿度チェックを行い(午睡前、おやつ後入室時等)加湿器や暖房を適切に使用する。</p> <p>・おもちゃの消毒、トイレの清掃を行う。嘔吐物処理セットを常備し、すぐに見えるようにしておく。</p> <p>・ゆったりとした雰囲気の中で保育を行い、一人一人と関わる時間を作る。また、必要に応じて落ち着いて話せるような環境を作る。</p> <p>・一人一人の思いを聞いたり、関わる環境づくりをする。</p> <p>・遊びの中や、会話の中で子どもと落ち着いて話せる環境を作る。</p> <p>・異年齢児と十分に関わりを持つ時間を計画する。</p>	<p>保育者の援助及び配慮</p> <p>・一人一人の発育、発達状態、日常に見られる心身の状態を職員間で細かく話し、子どもの変化に気付いていけるようにする。</p> <p>・手洗いを丁寧にできるように感染症予防のために保健衛生に留意する。</p> <p>・一人一人の思いを受けとめ共感していく。個別に関わる時間を多く取り入れていくようにする。</p> <p>・子どもの思いを受けとめ仲立ちしながらその都度伝えていく。</p> <p>・子どもの気持ちを汲み取り、上手く伝えられなくても待つことで安心して気持ちを表せるようにする。</p> <p>・交流の中で子どもが感じた嬉しい気持ちや楽しかったことを言葉にし、振り返ることで気持ちを共有していく。</p>	
<p>健康</p> <ul style="list-style-type: none"> 椅子を机の中にしまおうとする。 手洗いを丁寧にしようとする。 <p>人間関係</p> <ul style="list-style-type: none"> 尿意や便意を感じ自分でトイレに向かおうとする。 上着や衣服の着脱を自分でやってみようとしていたり、量み方を知る。 食具を持ち、器に手を添えながらこぼさずに食べようとする。 鼻水が出たら自分で拭いたり、鼻をかんでみようとする。 <p>環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 簡単なルールのある遊びをやってみようとする。(しっぽとり・引越ゲーム) 「一緒に遊ぼう」「○○しよう」などのやりとりをしながら、友だちと同じ遊びや場を共有して遊ぶことを楽しむ。 冬の自然に触れて楽しむ。(木々の変化、氷作り、霜柱) 色の変化や光を実際に見て感じる。(セロハンの色遊び) 戸外で体を動かし遊ぶことを楽しむ。 <p>言葉</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちや保育者とごっこ遊びや見立て遊びをする中で言葉のやりとりを楽しむ。 言葉の響きや繰り返しを楽しむ(カード遊び) <p>表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 友だちや保育者と歌うことを楽しむ。(ゆき「パンの手遊び」など) 保育者と一緒にはさみをを使ってみたり綿や毛糸の感触を楽しむ。(鬼のお面制作) 自分で作った物に愛着を持ち遊ぼうとする。(獅子舞作り) お正月について興味を持ったり、知ろうとする。 	<p>職員間の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 椅子同士ぶつかることのないようにする。 手洗い用石鹸や、ペーパータオルを準備しておく。 トイレをいつでも使えるよう環境を整えておく。 衣服を着脱しやすいうよう、十分なスペースを確保しておく。また、かごで怪我をすることがないよう近くで見守る。 落としても対応できるよう、予備の食具を準備してもらう。 ティッシュペーパーは、取り出しやすい場所に置いておく。 しっぽとりを使うしっぽを準備する。 子どもの動きをよく把握し、配慮が必要な場合には近くにいられるようにする。 氷作りのカップ、トレイを準備をする。 ごっこ遊びが展開していくような道具を準備しておく(エプロン、だっこ紐等) 園庭、公園に危険物がないかよく確認する。 CD、デッキ、ピアノ、楽器を準備しておく。 はさみを確保し、綿や毛糸を準備する。また、鬼の絵本を準備しておく。 ホールにて大勢の中で話を聞いたり雰囲気を楽しめるようにする。 お正月について意味を伝えたり、新年子ども会を楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 足を挟むことのないよう近くで見守る。 水分補給を十分に行い風邪、体調管理に気をつける。 自分ですすんで行おうとする姿勢を認めていく。 排泄の間隔が短い子には早めに声を掛けるようにする。また、自分でトイレに向かう際は近くで見守れるようにする。 難しいところは、援助をしながら達成感や味わえるようにする。 保育者が食器を持ったり、正しく食具を使用する姿を見せる。 手を添えて一緒に鼻を押さえたり鼻をかんだりしながら清潔にする気持ち良さを子どもと共有していく。 保育者も一緒に体を動かし、楽しい雰囲気遊びを行えるようにする。 子ども同士の関わりを把握し、思いが言葉にならない時には仲立ちすること、やりとりを楽しめるようにしていく。 氷の冷たさや霜柱の感触に保育者が気付く子どもと不思議さを共有していく。 色が変わっていく様子を子どもと一緒に気付く、共有していく。 保育士も子どもと一緒に遊びを楽しみ、言葉のやりとりを子どもたちが喜ぶように援助していく。 子どもたちの好きなフレーズに気付いて共有したり、繰り返し歌うことで楽しめるようにしていく。 はさみを使用する際には必ず保育者が近くに着き、少人数で行うようにする。また、作品を認めたり完成を一緒に喜んでいく。 お正月あそび(伝承遊び)について伝えたり、お正月への興味を大切にすること。 	
<p>家庭・地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 園内での感染症に関する情報をこまめに伝えていき、感染症の予防や早期の受診に繋げていく。 「自分で」と身のまわりのことに取り組む姿をクラスだよりや、保護者に直接伝えていき、家庭でも身のまわりのことをやってみようとする姿を温かく見守ってもらえるようにする。 予防のための手洗い、うがいを家庭でも行ってもらおう伝えていく。 	<p>職員間の連携</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症の情報を把握し子どもの体調の変化等も職員全体で共有していく。 自分でしようとする姿を認めていけるよう、一人一人に合わせた援助の仕方を確認しておく。 保護者会に向けて、子どもたちの普段の様子を見てもらえるよう、また子どもたちが安心して楽しめるよう保育士の援助方法を計画していく。 	<p>月の反省と自己評価</p>	